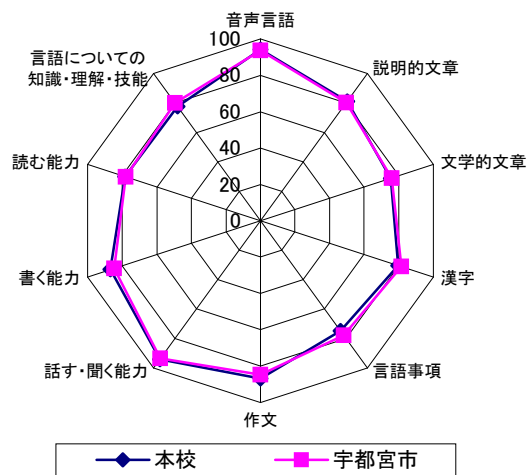


宇都宮市立宝木小学校第4学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	94.2	93.6
	説明的文章	81.2	80.3
	文学的文章	75.4	75.8
	漢字	79.6	81.6
	言語事項	74.8	77.7
	作文	86.7	84.6
観点別	話す・聞く能力	94.2	93.6
	書く能力	86.7	84.6
	読む能力	78.3	78.0
	言語についての知識・理解・技能	77.7	80.0



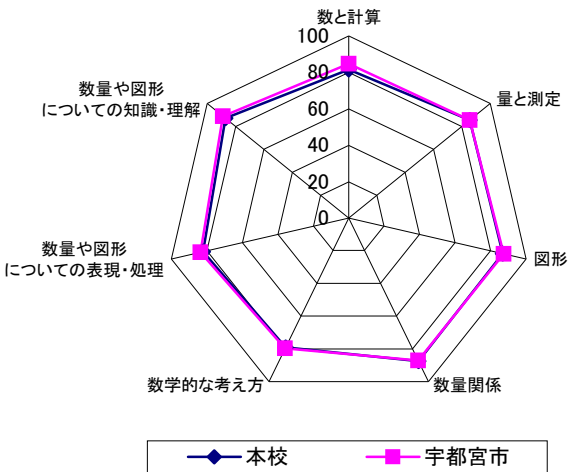
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (94.2%)	・平均正答率は、話す・聞く能力が市平均正答率をわずかに上回っている。話題の中心の聞き取りはよくできていたが、話題の沿った質問に誤答が多かった。	・各教科の授業や日常生活において話を聞くことに重点をおいて指導してきたが、さらに、聞き取った内容から自分の考えと比べたり、質問したりできるようにする。
説明的文章 (81.2%)	・平均正答率は、市平均正答率をやや上回っている。文章全体の内容の理解はできていたが、指示語の内容の理解や文脈に即した内容の理解に誤答が多かった。	・国語の説明文の学習で、筆者の意図をきちんと読み取らせ、接続語に着目させて文脈にあった内容を考えさせるようにする。また、指示語は文章の中で、どんな内容を表しているかを確認していくようにする。
文学的文章 (75.4%)	・登場人物の心情の読み取りは市平均よりもやや下回っている。登場人物の様子を読み取りに誤答が多かった。	・国語の物語の学習では、文章に沿って登場人物の心情や表現のすばらしさを考える習慣をつけるとともに、登場人物の様子や心情を表す語句や文章を考えて的確にまとめるようにする。また、読書活動を多く取り入れ、読書会などの時間も設けたい。
漢字 (79.6%)	・平均正答率は、市平均より下回っている。4年の漢字の読み書きは市平均と同等であるが、3年生までの漢字の書き方が市平均正答率を下回っていた。	・漢字ドリルを利用して、筆順を覚え正確に書くことを意識して練習させる。また、繰り返し練習させたり、小テスト実施したりして確実な定着を図っていくようにする。さらに、3年生までに習った漢字の復習をさせるようにする。
言語事項 (74.8%)	・平均正答率は市平均より下回っている主語・述語の関係や句読点の打ち方はできているが、ローマ字の書き方の誤答が多かった。。	・文章を句読点を意識して音読したり文の意味を考えたりする。学習や文法や表記についての練習問題を行い習熟させていくようにする。ローマ字の表記を繰り返し練習して覚えさせたり、日常生活の中でローマ字で表記させたりして、定着を図っていくようにする。
作文 (86.7%)	・平均正答率は市平均より上回っている。礼状の書き方の形式がよく理解できていた。	・随時、お世話になった人への手紙を書く機会を設け、形式を理解させながら、適切な内容の手紙が書けるよう指導していくようにする。

宇都宮市立宝木小学校第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	81.5	84.7
	量と測定	85.5	85.6
	図形	86.9	87.3
	数量関係	87.4	87.0
観点別	数学的な考え方	78.9	79.6
	数量や図形についての表現・処理	82.0	83.6
	数量や図形についての知識・理解	87.0	89.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (81.5%)	・平均正答率は市の正答率より下回っていた。整数のわり算はできていたが、少数のたし算、大きな数、概数と四捨五入、分数の意味と表し方の誤答が多かった。	・少数のたし算では、位をそろえて計算することを確認していくようにする。大きな数では十進法の仕組みを確かめて表記できるようにする。概数の四捨五入では、概数で表す位の一つ四捨五入することを確認する。分数の意味と表し方では、もとにする数を抑え、分母と分子の関係を確かめて表せるようにする。
量と測定 (85.5%)	・平均正答率は市の正答率とほぼ同等あった。分度器を使用して角度を測ることはできているが、三角定規の角の大きさをもとにして角の大きさを求める問題の誤答が多かった。	・三角定規の角の大きさをしっかりと覚えさせ、三角定規の角の大きさを使った角の大きさの求め方を理解させるようにする。
図形 (86.9%)	・平均正答率は市の正答率をやや下回っていた。正三角形の弁別は理解できていたが、二等辺三角形の弁別の理解に誤答が見られた。円と球については、球についての理解が低かった。	・二等辺三角形の定義や性質を確かめ、二等辺三角形の弁別ができるようにする。円と球では、球の半径と直径の長さの関係を確かめ、球の半径と直径の長さをもとに入れ物の長さを求められるようにする。
数量関係 (87.4%)	・平均正答率は市よりもやや上回っていた。折れ線グラフの変化の読み取り方やわり算の文章題を解くことが十分でないところがあった。	・折れ線グラフの読み取り方では、線の傾き方などから変化の様子を読み取れるようにする。わり算の文章題では、文章の内容を把握し、語句の表現を考え、もとになる数を押さえて立式できるようにする。